

## 加藤 彰彦

沖縄大学名誉教授  
第20代、21代沖縄大学学長

1964年横浜国立大学卒業。横浜市内の小学校教員、ソーシャルワーカーを経て、1991年横浜国立大学教員。2002年沖縄大学教員。著書に「海と島の思想」、「希望をつくる島・沖縄」などがある。

## 桜井 国俊

沖縄大学名誉教授  
第18代、19代沖縄大学学長

1966年東京大学卒、工学博士。WHOやJICAの環境専門家として多くの途上国で働くとともに青年海外協力隊の環境教育隊員の育成に25年にわたり関わる。2000年の沖縄大学赴任以来、沖縄環境ネットワーク世話人として沖縄の環境問題に取り組む。

# 今、 沖縄に 何が問われているのか？

今年、沖縄大学は創立60周年を迎えた。60年間は、大学としての使命を果たすべく奮闘してきた歴史であったともいえるだろう。その歴代学長である桜井国俊氏と加藤彰彦氏を迎えて、それぞれの専門とされる環境や福祉という分野を越えて、次世代に伝えなかったことや次世代からの発信に目を向けながら、「沖縄に何が問われているのか？」をテーマにメッセージをいただく。後半では現学長の仲地博が加わり、これから、沖縄がどう取り組んで行くのかについて議論を深めたい。

## 仲地 博

現沖縄大学学長(第22代、23代)

北海道大学を経て明治大学大学院博士課程満期退学。専門行政法、地方自治法。琉球大学教授を経て現職。沖縄で育ち北海道と東京で学んだ経験が多様な日本、豊かな日本を実感し現在の研究の背景になっている。

## プログラム

- 14:00 開会の挨拶
- 14:05 基調講演「今、沖縄に何が問われているのか?~環境の視点から~」  
桜井 国俊
- 14:50 基調講演「まちに暮らしの種を蒔く」加藤 彰彦
- 15:35 休憩
- 15:45 提議【桜井 国俊・加藤 彰彦・仲地 博】  
フロア討論、質疑応答
- 17:00 閉会

コーディネーター

## 宮島 基

沖縄大学人文学部こども文化学科  
准教授 / 地域研究所副所長



専門は教育学(青年期教育・教育思想研究)。子どもが様々な「生きづらさ」を抱え、大人へと「成長」していくプロセスが長期化・複雑化した今日において、問題の実態解明と支えとなる教育の役割について研究している。

日時 2018年 7月7日[土] 14:00~17:00

場所 沖縄大学アネックス共創館

■ 問い合わせ先 / 沖縄大学地域研究所 沖縄県那覇市国場405番地  
[TEL] 098-832-5599 [FAX] 098-832-3220 [MAIL] chicken@okinawa-u.ac.jp

聴講料  
無料  
事前予約不要